

第 68 回全国高等学校 P T A 連合会佐賀大会報告

去る 8 月 19 日（日）20 日（月）21 日（火）の 3 日間、佐賀県総合体育館を主会場に、第 68 回全国高等学校 P T A 連合会大会が開催されました。

高知県からは保護者、先生方を含め総勢 50 名の方々にご参加いただきました。

今大会「広めよう 高めよう 慈しむ心」～君たちがつくる希望の明日を～ をテーマとして掲げ、佐賀市、唐津市、鳥栖市、嬉野市の 4 市 5 会場での開催となりました。



開会式に続き、平成 30 年度全国表彰が行われ、県内からは優良 P T A 文部科学大臣表彰を窪川高等学校 P T A 様が受彰されました。

また、全国大会会長表彰を公文 薫（山田高等学校）様、田中 辰徳（宿毛高等学校）様のお二人が個人で、丸ノ内高等学校 P T A 様、高知若草養護学校 P T A 様の 2 団体が受彰されました。

役員等表彰では、川北 恭弘（前高知県高等学校 P T A 連合会会長）様、P T A 活動功労者表彰では、生永 慎一（元高知県高等学校 P T A 連合会会長）様、西澤 和史（元中村中・高等学校会長）様が受彰されました。

私は代理として受彰者席で表彰の式典に参加しましたが、周りの方々には一つの役目を成し遂げた達成感の様な雰囲気が漂い、身の引き締まる心地のいい緊張感を味わうことができるとともに、今後の自身の役割について責任を強く感じました。

佐賀県総合体育館大競技場で開催された第一分科会に参加し、秋田、愛知、奈良、沖縄の各県から選出されたPTA活動の実践報告が行われました。

どの活動報告でも礎となるのはやはり、学校・地域・保護者の連携・協働が大切であること、そして地元で活躍したいと思う人材を育てるには、高校時代の様々な経験からのいい思い出が重要であること、そのためには学校と保護者が連携して魅力ある学校づくりを推し進めることを強く感じました。

基調講演ではレモンさんこと山本シュウ氏の熱のこもった講演が行われ、子供たちとの関わりは保護者が気兼ねする必要はなく、暑苦しいほどの愛情で積極的におせっかいを焼こうといった、これからの将来を担う子供たちに人と人の関わり・つながりを、身をもって教え、その心を育てるといった内容と感じました。

昼食時には佐賀県出身のタレント、はなわさんのライブが行われ、名曲の「お義父さん」が熱唱されたときは、会場全体が感動の雰囲気となりました。



今年は愛媛県での中四国大会が中止となり、各校のPTA会員様には多大なご迷惑をおかけすることとなりました。

このため、他県の情報になかなか収集できにくい状況となり皆様には多大なご迷惑をおかけしたことお詫び申し上げます。

全国大会での情報交換は、各都道府県の実情もあり、素晴らしい活動報告であってもなかなか、そのまま実践できるものはないかもしれません。

ただ、地域を理由としない生徒・学校・地域の連携・協調、そしてそのパイプ役としてのPTAという形はどこでも同じだということです。

今後も皆様のお力をお子様の通う学校にお貸しいただき、私たちの活動の主役であるお子様たちが夢と希望を抱き、後悔のない明るい未来に辿り着けるようご協力をお願いいたします。

また、高P連としましても研修等を通じ、今後もできる限りの情報の提供や共有を行っていきたいと考えております。

全国大会にご参加いただきました保護者、教職員の皆様本当にお疲れ様でした。



高知県高等学校PTA連合会
会長 小串和久